

県内主要小売店1月売上高

全5社、前年上回る

県内に拠点を置く主要小売店5社の1月売上高実績(全店売上高)は、全社が前年同月を上回った。昨年1月の能登半島地震の特需に伴う反動減も見られた。バローは週末の魚大市が支持を集め、週末の売り上げが伸長。水産やベーカーは好調を維持した。Vドラッグは乾燥した日が続いた影響で、ハンドクリームやスキンケア関連商品が好調。鼻炎薬の動き出しが早かった。ホームセンターバローは農業関係の商品の動きが例年よりも良かった。セリアは雪の影響で伸び悩んだが、人気商品の毛糸は品切れがあり、昨秋から強化するデジタル関係のスマートフォン関連のケースが伸長した。ヒマラヤは復調した。冬らしい気候が続き、冬物アパレルの勢いが継続。低調だったウ

インター用品は値下げ効果で息を吹き返し、前年実績を上回った。各種シューズは大幅な伸長が続く。

県内主要小売店 1月実績	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	5.3	2.4	▲0.9
Vドラッグ	3.0	▲0.3	▲2.7
ホームセンターバロー	0.6	▲1.3	▲4.5
セリア	2.3	▲0.5	1.7
ヒマラヤ	5.5	6.4	

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。空欄は非開示